

# 美術科教育学会誌『美術教育学』第27号(2006年3月刊行予定)投稿要領

学会誌書式は改訂予定です / 投稿者は投稿予告連絡をお願いします

2005年6月16日

学会誌編集委員長 永守基樹

## 1 『美術教育学』第27号論文投稿について

美術科教育学会誌『美術教育学』第27号への論文投稿を呼びかけます。

本学会誌では、会員からの論文投稿を常時受け付けています。投稿論文は未発表論文に限られますが、大会や地区会等で口頭発表された論文は既発表とはされず投稿可能です。詳細は今春改訂された「査読・編集規定」及び「投稿案内」でご確認下さい。投稿論文は、編集委員会が委嘱した査読者による査読と、その結果を受けた編集委員会の議を経た上で掲載が決定されます。

第27号掲載希望の論文投稿の締め切りは、2005(平成17)年8月25日木曜日(必着)とします。ただし特別の事情のある方には、「特別猶予期間」を設けます。その後査読をはじめ所定の手続きを経て、掲載可否判断の結果を9月下旬頃までにお伝えし、条件付掲載可とされた論文も含め、最終的には10月下旬頃(正規期日は該当者に通知)までに「入稿要領」(該当者に別途送付)に従ってデータを整えていただき、掲載論文入稿といたします。

8月25日締め切りの投稿に際しまして、ご送付願う内容を下にご案内いたします。どうぞ学会員の皆様、ふるってご投稿ください。

なお、本号からは新しい「学会誌査読・編集規定」に従って発刊作業を進め、投稿者には「投稿要領」(本文書)「入稿要領」に沿って原稿を整えて頂きます。投稿時の提出物や原稿作成形式、投稿料についても変更がありますので留意下さい。また27号より学会誌の装帧やフォーマット(字数・行数・字体など)についても改訂を予定し現在細部を検討中です。そのため今回の投稿期限までに原稿形式に若干の変更がある可能性をお含み下さい。遅くとも7月末までには決定する予定であり、決定次第に本学会HPにフォーマットをアップする等して広報しますが、投稿原稿作成要領を迅速・正確にお知らせするために、以下の要領で投稿希望者はE-Mailで予告をお願いします。ご不明の点をご遠慮なくお問い合わせください。

### 投稿予告Eメール(FAX又は郵送も可)を7月末日までに(それ以前以降も可)

メール標題「学会誌27号投稿希望/氏名」、本文に「氏名・所属・論文仮題・連絡先電話・Fax・E-Mailアドレス」を記入し、下記照会先(永守研究室)まで。本予告を掲載の条件とはいたしません。

## 論文投稿時提出物一覧

(大きな不備がある場合は再提出や不受理の扱いとすることがあります / 提出物は原則として返却しません)

### 査読用原稿

#### プリントアウトされた原稿 複写可 4部

レイアウト(本文フォーマット)の形式は大きく変更される予定です。変更は投稿希望者にメール等で通知し、HP上でもお知らせする予定ですが、まずは裏面の「投稿原稿作成要領」に拠ってください。プリントアウトされた原稿は「表題」「図版」「表」等のすべてを含んだおおよその完成時レイアウトが示される必要があります。投稿時は、英文表題・英文要約は不要(入れてもかまわない)ですが、英文表題部分のスペース(行数)はレイアウトして下さい。

原稿は必ずパソコン又はワープロで作成して下さい。査読等を経て後の最終的な文字原稿はフロッピーディスク等のデジタルデータでも提出していただくこととなります(第26号より投稿時には不要としました)。

#### 図版・図表コピー 4部

投稿時は原則としてコピー等で提出。文字原稿とともにデジタル情報化してレイアウトすることも可。この場合は、プリントアウトされたもののなかに図版・図表も収まることとなります。また、紙焼き写真や図版などを別に原稿とする場合は、必要に応じてトリミングを明示し、レイアウトされた原稿での位置を頁番号や記号で明確に指示して下さい。

尚、図版などの著作権については投稿前に十分な確認をお願いします。

## 論文査読結果報告送付用封筒 1枚

(A4版用〔角形2号〕,郵便切手240円貼り付け,返送用投稿者住所氏名等記入済みのもの)

## 論文査読用郵送費

郵便切手で 240円×4 計960円分

## 論文受領確認はがき

50円官製はがき(論文投稿者住所氏名等記入済みのもの)

## 緊急連絡先のメモ

A4版用紙に横書きに下記の内容を明記

氏名 / 電話番号(自宅・職場の別明記) / Fax番号 / E-Mailアドレス / 携帯電話番号等

**締め切り** 2005年8月25日(木)郵便必着

**特別猶予期間** 2005年9月6日(火)郵便必着

やむを得ぬ事情で締切日までに原稿を提出いただけない場合,必ず投稿する旨の申し出と投稿予定論文と文レジュメ(200字程度)を8月25日郵送必着でお送りいただいた場合に限り,9月6日(月)(必着)まで特別猶予期間を設けます。

上記2者の締切期限は公正を期すために厳守しますので,余裕をもって郵送願います。

**送付先** 〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学 教育学部 美術教育学研究室

永守基樹 気付 美術科教育学会誌編集委員会 宛

**送付方法** 郵便に限定(手渡し・宅送便等不可)

**投稿料** 査読後掲載が決定された場合,所定の投稿料を納めていただくことになっています。

ご用意いただけない場合,掲載<可>の決定を取り消さねばならない場合があります。

基準頁数12頁〔最終的なレイアウトの結果/冒頭(タイトルとサマリー掲載)頁は別扱い〕とし,その範囲の投稿料は26,000円,それを超える場合超過分1頁あたり6,000円とします。

図表・写真などへの課金は特殊な場合を除いて行いません。

第27号より完成学会誌と別刷の郵送料込みとし,千円値上げしております。

**照会先** 学会誌編集委員長 永守基樹

郵便住所は上記大学研究室 Phone/Fax 073-457-7358 / 7508(直通)

E-メール nagamori@center.wakayama-u.ac.jp (査読後の照会先は別となる可能性があります)

## 2 『美術教育学』賞・同奨励賞について

・2003年度より,美術科教育学会員による,美術教育学研究の発展に貢献が期待され,今後の可能性に満ちた優れた研究成果に対して『美術教育学』賞及び同・奨励賞を授与することになりました。清新な研究を称揚し本学会誌の質向上を図るとともに,斯学全体の発展に資することを目的としています。投稿に際しては本賞の対象となることをご了承下さい。賞の詳細については学会HPにて『美術科教育学』賞規定をご参照下さい。

## 3 学会誌掲載論文レビューについて

・学会誌『美術教育学』第24号から学会誌掲載論文を対象としたレビューが掲載されています。その趣旨については第24号の「批評と討論 <美術教育学>の理論と実践 レビュー論文掲載について」(長田謙一・前編集委員長)を御参照ください。レビューは第27号にも継承されます。

## 投稿原稿作成要領

学会誌の形式に沿ったレイアウト(表題・本文・図表・註)済みの原稿を投稿時に提出して頂きます。

**レイアウト・書式は27号より大幅に改定されます/上記の案内に沿って投稿予告連絡をお願いします。**

改訂版の書式は7月末までにはHPよりダウンロードできる予定。まずは以下に沿って投稿原稿作成をお願いします。

**不明の点をご遠慮なくご照会下さい。**

## (1) 構成について（タイトル以外は2段組になりました）

- ・印刷仕上がりはB5版ですが、A4にレイアウトしても差し支えありません。
- ・本文は、1 ページ2段組。左右の各段は1段 20 字×40 行の横書きとします。（従前比で5%程度文字数増加）（仕上がり10ポイント）
- ・図表も本文枠内に収め、原則として図表横巾は段の巾（1段又は2段）に合わせてください。
- ・最初の頁には冒頭左右2段分15行にタイトル、その下の左段25行に和文サマリー、右段25行に英文サマリーが掲載されます。  
（この冒頭頁は基準12頁含まれません）（仕上がり12ポイント）
- ・タイトルは表題、副題、氏名、所属を和文・英文で記します。副題はかならずとも必要としません。すべて左寄せしてください。和文標題、英文標題、和文氏名（和文所属）、英文氏名（英文所属）の順に改行して示して下さい。
- ・部位構成は、章、節とします。必要に応じて、章の上位に部、節の下位に項の設定も可とします。  
部にはローマ数字+ 空白、章にはアラビア数字+ ピリオド、節には( )で囲んだアラビア数字+空白、項には で囲んだアラビア数字+空白を用います。部および章は、前部ないし前章から1行空白をとり章題のみを1行とし、次行から内容を書き始めて下さい。節は、前節との間に空白行をとりませんが節題のみに1行を用います。項は、タイトルの後に全角の空白をとり同行から本文を始めてください。
- ・ノンブル(頁番号)は各頁の下段余白中央に当該論文内での頁番号を明示して下さい

## (2) 文字について

- ・句点は「。」、読点は「、」をお使い下さい。
- ・欧文文字およびアラビア数字は半角として下さい（全角文字(和文文字)ではありません）。但し1桁数字は全角とし、2桁以上の数字は半角とします(例:「第1号」「23年間」)。
- ・括弧、鍵括弧、スラッシュ、ハイフンの類は全角としてください。

## (3) 図表について（2段組のフォーマットを生かしたレイアウトを）

- ・「図」ないし「表」という表記のみを使い、その他「写真」「作品」「グラフ」などの表記は、特別な事情がない限りお避け下さい
- ・図のキャプションは、図の幅においてセンタリングし、図の下段に記します。
- ・表のキャプションは、表の幅において左詰めし、図の上段に記します。
- ・原則として、図表は本文中に割り付け、段組の横幅を基準にした統一感のあるレイアウトを心がけて下さい。
- ・割付については本文中に予めスペースをとり、枠線ないしは図表の縮図を挿入し、図表原稿との対応番号やタイトル等を明記して下さい。
- ・図表中の文字が仕上がり時点で判読不能にならぬよう、ポイント数や網掛け等に注意して下さい。

## (4) 註について（サイズ・行間ともに落とします）

- ・本文中の註番号は通し番号とし、1), 2), 3) のように半角アラビア数字で付し、右肩上ツキ（例<sup>4)</sup>）とします。
- ・査読時の便宜のために、**番号を目立つようにマーク**して下さい。（遺漏が目立ちますので、どうかご努力をお願いします）
- ・引用文献、参考文献は、まとめて註として下さい。
- ・註は、本文より文字サイズと行間を落とし25 字×53 行の割り付けとします。（仕上がり7.5ポイント）
- ・註に参照ないし引用として文献を記す場合の表記は以下の通りとして下さい。  
論文の場合：著者名「論文名」『雑誌名』巻号等、発行年、参照引用頁。  
著書の場合：編著者名『書名』出版社名、発行年（原則西暦）、参照引用頁（「p.12」又は、「pp.34-56」の表記を原則とする）。  
直後に重複出現する場合：同、参照引用頁。  
間隔において重複出現する場合：著者姓、前掲、参照引用頁。（著者姓、前掲、書名、参照引用頁。）
- ・欧文論著の場合は上記を原則として、当該言語文化圏の慣例に従ってください。雑誌名、書名はイタリック体を用います。

パソコン、ワープロ等で上記要領による原稿作成に困難を感じられる方は編集委員会にご相談下さい。

# 美術科教育学会誌『美術教育学』投稿から発刊まで

